

伝染性紅斑(りんご病)と流行性角結膜炎にご注意を!

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	→ 0	0	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	→ 55	55	ヘルパンギーナ	↓ 9	14
咽頭結膜熱	↓ 12	24	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↑ 47	46
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓ 73	91	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↑ 518	488	流行性角結膜炎(はやり目)	↓ 34	37
水痘	↑ 7	6	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↓ 15	38	無菌性髄膜炎	↓ 0	1
伝染性紅斑(りんご病)	↑ 49	48	マイコプラズマ肺炎	↑ 11	8
突発性発しん	↑ 44	33	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロウウイルス)	→ 1	1

報告が多い感染症
 感染性胃腸炎
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
 RSウイルス感染症

大きな流行が発生又は継続しつつある地域
 感染性胃腸炎 : 八代
 伝染性紅斑 : 天草、菊池
 流行性角結膜炎 : 熊本市

保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロウウイルス)
熊本市保健所	25	2	22	81	1	4	18	15	2	6	31	9	1						
山鹿保健所				30			3		2	*	*								
菊池保健所	12	1	15	88	2	8	9	11	3	4									
阿蘇保健所				7							*	*	1						
御船保健所			2	26							*	*							
八代保健所	11	1	1	80			7	3											
水俣保健所	1		1	1				3			1		*	*					
人吉保健所			13	13			4	2				4	*	*					
有明保健所			7	5	89	3	2	1	2			18		2			1		
宇城保健所	5		2	46	1	1	2	4			1	13	*	*					
天草保健所	1	1	12	57				8	1		2			1					
計	0	55	12	73	518	7	15	49	44	0	9	47	0	34	0	0	11	0	1

年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	55	5	11	32	3	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0							
咽頭結膜熱	12	0	1	4	2	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	73	0	0	1	0	3	16	9	10	11	5	6	1	2								
感染性胃腸炎	518	4	42	80	67	50	44	42	30	31	23	17	45	7	36							
水痘	7	0	1	0	1	0	2	2	0	0	0	1	0	0	0							
手足口病	15	0	1	6	6	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0							
伝染性紅斑	49	0	0	2	3	9	8	6	7	4	2	6	2	0	0							
突発性発しん	44	1	17	23	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
ヘルパンギーナ	9	0	1	2	2	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0							
流行性耳下腺炎	47	0	0	3	3	7	9	6	8	6	3	1	1	0	0							
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	34	0	2	1	3	2	1	0	1	0	1	0	3	0	3	8	1	3	4	1		
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	11	0	4	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
感染性胃腸炎(ロウウイルス)	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					

伝染性紅斑(りんご病)の増加が続いています

伝染性紅斑は、乳幼児から中学生に最も多く発生しています。本県においては、6月頃から増加しており、増加傾向が続いています。地域的には天草で最も多く報告されており、菊池、八代と続いています。類に発疹が出る7~10日くらい前に、微熱やかぜ症状などが見られることが多く、この時期、咳をした時のしぶきやくしゃみで感染します。発疹が現れ、頬が赤くなる頃には、感染力はほぼ消えています。1週間くらいで治まることが多いですが、大人がかかると関節痛や関節炎をおこすことがあります。



流行性角結膜炎にも引き続きご注意ください

県内における流行性結膜炎の報告数は減少傾向ですが、熊本市においては現在も1地点あたりの発生数が警報レベルとなっています。ウイルスのついた手で目を触ることで感染(接触感染)することが多いので、予防には丁寧な手洗いが有効とされています。赤ちゃんや小さなお子さまなどでは、重症化することがあります。症状の見られる場合には、早めに医療機関を受診しましょう。

